

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370600484
事業所名	グループホームへいわ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入している。 地域行事への参加（節分祭・盆踊り・敬老会）がある。 専門学校の実習受入、中学校の体験学習受入がある。 散歩時の地域の方との会話、喫茶店・飲食店・コンビニ・クリーニング店などの活用がある。 地域交流室を開放し、各教室や老人会等が使用している。利用者が習字教室に参加している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	ご利用者状況・活動報告の簡素化の提案があり、改善を図った。 災害時の地域との連携を検討する中で消防職員を呼んでの学習会や会議に町内会長が参加し、交流を図っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の介護保険課に事業所として事故報告など情報を提供している。 市主催の研修会へ参加している。 社会福祉協議会の広報誌にボランティア募集の掲載依頼をしている。 運営推進会議にいきいき支援センターの代表が参加し、情報を共有している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	毎月、便り「喜泉」や法人便り「おたよりへいわ」を発行している。 「家族会」を年1回開催し、交流を図っている。年1回開催される「家族の会」の意見や要望を反映している。 苦情相談担当者が配置されている。定期的な家族面談、面会時に意見・要望など、自然に話し合える関係を築いている。医療費やおこずかいの残高をお便りに案内。制度の活用などの提案をしている。	○
重点項目⑤		評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	×	○	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。